

会員各位

(一社) 長野県理学療法士会
会 長 佐藤 博之 (公印省略)
生涯学習部長 大橋 淳司 (公印省略)

令和 5 年度長野県理学療法士会主催症例検討会の開催のお知らせ

拝啓

先生方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

長野県理学療法士会 (以下、県士会) では自施設に登録理学療法士会がない後期研修対象者を中心として県士会主催症例検討会を WEB 形式で開催しています。今回、下記内容で令和 5 年度県士会主催症例検討会を開催いたします。

聴講による履修を希望の方は下記内容を確認の上で各自マイページから申し込みをお願いします。

今回の発表者は後期研修中の方ではなく下記の大先輩方の発表となります。よい勉強の機会となると思いますので参加のほどよろしくをお願いします。

【開催内容】

令和 5 年度県士会主催症例検討会 令和 6 年 1 月 21 日 (日) 19 時 00 分～19 時 30 分

発表形式：ZOOM を使用した WEB 形式の症例検討会

パワーポイントを用いた口述発表で 20 分程度の発表、10 分程度の質疑応答

履修対象者：①後期研修履修中の方

②前期研修履修中で実地研修を D-2 の区分で受講中の方

*後期研修中以外の方も参加可能です。

申し込み方法：日本理学療法士協会会員マイページからの申し込み

発表テーマ：小脳腫瘍術後、重度運動失調「状態」から職場復帰までの運動療法

聴神経腫瘍 (2010 年頃発症) にて γ ナイフ等の治療を受けながら職業 (看護師) を継続してきたが、2020 年小脳への転移にて切除術を受け重度運動失調状態となった症例を紹介する。

急性期後深部感覚障害から筋活動弱化となり異常な姿勢固定、動作を呈し監視歩行器歩行となっていた。1 ヶ月半後、当院転院となり①異常な筋活動による異常姿勢固定の改善②姿勢動作制御の獲得③ADL への応用④本人希望の職場復帰を目標とした。転院から 3 ヶ月で車椅子移動から近接監視での独歩となり、4 ヶ月で自宅退院した。

外来通院となり手術から 1 年後、車の運転、職場復帰された。その過程での評価と治療介入をビデオで紹介する。また小脳の諸機能についても考察を加える

発表者：手塚 昌男 (老人保健施設 虹の森)

共同演者：下田 泰司 (町立辰野病院)

大槻 利夫 (上伊那生協病院)

履修聴講ポイント：後期研修 E 領域別研修 (事例) E-1：神経系理学療法学

問い合わせ先

諏訪中央病院 リハビリテーション科 大橋 淳司 TEL：0266-72-1000